

2020年度 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等

愛知県教育委員会

I 日程

- (1) 受験案内の配布 2019年4月25日(木)から、受験案内と願書等をダウンロードできます。
教職員課ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>
- (2) 願書受付期間 2019年4月26日(金)～2019年5月15日(水) ※当日消印有効
- (3) 試験日 第1次試験 2019年7月20日(土)
 第2次試験 1日目 2019年8月20日(火) 2日目 2019年8月21日(水)

II 受験区分

受験区分	採用予定人員	教科(科目)
小学校教諭	約740人	
中学校教諭	約300人	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語
高等学校教諭	約260人	国語 地理歴史 公民 数学 理科 音楽 美術 保健体育 家庭 英語 工業(機械) 工業(電気) 工業(土木) 工業(化学工業) 工業(セラミック) 工業(デザイン) 農業 看護 情報 福祉
特別支援 学校教諭	約130人	小 学 部
		中 学 ・ 高 等 部
養護教諭	小・中学校	約40人
	県立学校	約10人
栄養教諭	約10人	小・中・県立 (特別支援)学校

- 注意 1 日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。
 2 受験区分及び教科(科目)について一つのみ出願できます。
 3 採用予定人員は現時点における一応の目安であり、変更することがあります。
 4 採用予定人員の変動により、受験した受験区分以外の校種(特別支援学校の部を含む。)の要員として合格又は補欠とすることがあります。
 5 小学校教諭及び中学校教諭の採用者については、一定期間を経過した後に小学校及び中学校の校種間で異動することがあります。
 6 栄養教諭については、特別支援学校へ配置されることがあります。

III 平成31年度教員採用選考試験(30年度実施)の実施状況(平成31年4月1日現在)

区分教科(科目)	受験者(A)	合格者(B)	補欠者	繰上者(C)	倍率(A/(B+C))	
小学校教諭	2346人	700人	80人	39人	3.2倍	
中学校教諭	国語	149	43	7	3	3.2
	社会	271	29	8	6	7.7
	数学	205	41	6	3	4.7
	理科	156	42	11	7	3.2
	音楽	120	14	2	0	8.6
	美術	62	16	3	2	3.4
	保健体育	433	39	3	1	10.8
	技術	24	14	1	1	1.6
	家庭	47	11	2	0	4.3
	英語	230	51	11	6	4.0
特別支援学校教諭	466	140	21	5	3.2	
小・中学校養護教諭	354	40	7	3	8.2	
県立学校養護教諭	68	10	2	0	6.8	
栄養教諭	126	15	3	1	7.9	

区分教科(科目)	受験者(A)	合格者(B)	補欠者	繰上者(C)	倍率(A/(B+C))	
高等学校教諭	国語	217人	38人	11人	9人	4.6倍
	地歴	259	24	5	3	9.6
	公民	56	5	1	0	11.2
	数学	292	46	11	6	5.6
	理科	211	29	6	4	6.4
	音楽	22	2	1	0	11.0
	美術	24	2	1	1	8.0
	保体	317	30	6	0	10.6
	家庭	60	8	1	1	6.7
	英語	179	52	12	4	3.2
	商業	83	1	0	0	83.0
	機械	29	13	1	0	2.2
	電気	33	8	2	0	4.1
	農業	27	4	1	1	5.4
	水産	5	2	0	0	2.5
	情報	32	4	1	0	8.0
	福祉	18	1	0	0	18.0
看護	1	1	0	0	1.0	

○ 台風などの非常時における試験実施については、下記の通りインターネットの愛知県教育委員会ホームページに掲載します。

- ① 問い合わせ可能時間 試験前日午後7時から
 ② ホームページアドレス
<https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>

《参考》平成31年度愛知県公立学校教員採用選考試験の問題の一部を参考として
情報提供いたします。

I 第2次試験の小論文の問題

次の文章は、2015年ラグビー日本代表ヘッドコーチのエディー・ジョーンズが、筆者に日本の未来について語った一部である。これを読んで、あなたはこの考えをどうとらえるか。また、それを踏まえて、あなたはどのような教員になりたいと考えるか。900字以内で述べよ。

日本が創造力の歩みを止めてしまった背景には経済的な基盤が安定し、「ミスをしない」ことが支配的になってしまったことが根底にあるという。

「社会に『ノーミス志向』が強ければ、クリエイティブに考えたり、決断していく方向に選手を仕向けることはできません。私は、選手たちに決断して欲しい。ただ、日本の社会では選手が決断したあとで『それは間違っていた』と否定することが多い。コーチにとって大切なのは、『選手はなぜそういう決断をしたのか』を考えることです。(後略)」

(生島淳著『コーチングとは「信じること」』より)

II 第2次試験の口述試験における集団討議のテーマ

- 1 「携帯電話の無料通信アプリで、同じ学級の5名の友人とグループを作った。しかし、誰かが自分だけをグループから外した。とてもショックで、学校に行きたくない。」と訴えてきた児童・生徒がいます。あなたは、担任(養護教諭・栄養教諭)として、この児童・生徒に対して、どのような配慮をしますか。また、学級全体に対して、どのように対応しますか。
- 2 様々な配慮や特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が複数在籍する学校で勤務することになりました。あなたは、担任(養護教諭・栄養教諭)として、このような児童・生徒に対して、どのような配慮や支援をしますか。また、学級全体に対して、どのように対応しますか。
- 3 外国籍の児童・生徒が複数在籍する学校で勤務することになりました。あなたは、担任(養護教諭・栄養教諭)として、外国籍の児童・生徒に対して、どのような支援をしますか。また、学級全体に対して、どのように対応しますか。